

第72回山口県美術展覧会要項

平成31年2月14日(木)～3月3日(日)
山口県立美術館



1 趣旨
「つくる・みる・ささえる」の創造的調和
制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

- (1) 「つくる」
自由な意識や現代社会に根ざして制作した作品を幅広く募集し、厳正な審査ののち、優秀なものを展示します。
- (2) 「みる」
審査員の視点や考え方を直に体感することのできる公開審査をはじめ、「みる」ことの多様性を体験できるプログラムを開催します。
- (3) 「ささえる」
山口県立美術館や地元商店街が軸となって開催している「HEART（美術館まちなか交流事業）」と連携し、地域を基盤に、芸術支援活動を促進するプログラムを展開します。

2 会期および会場など
(1) 会 期 平成31年2月14日(木)～3月3日(日)
休館日 月曜日
(2) 会 場 山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 TEL:083-925-7788
(3) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
(4) 観 覧 料 一般 500(400)円 学生 400(300)円 ()内は20名以上の団体料金
※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

- 5 審査の公開について
(1) 審査の傍聴
審査会は公開します。また審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。
①日 時：平成31年1月22日(火) 9:30～17:00
1月23日(水) 9:30～12:00
②会 場：山口県立美術館
③申込方法：山口県立美術館ホームページ (http://www.yma-web.jp) の申し込みフォーム、はがき、FAXのいずれかでお申し込みください。出品者の方以外も、傍聴可能です。
記入事項：傍聴希望日・住所・氏名・電話番号
申込期間：12月1日(土)～1月20日(日)必着
④申し込み・お問い合わせ：〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館 県美展事務局
TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790
※ご記入いただいた個人情報は、第72回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。
- (2) 審査結果発表
展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。
なお、出品者には、審査後1週間程度で、郵送にて、審査結果を通知いたします。



第71回山口県美術展覧会 大賞受賞作品
山根秀信 「食卓上の廃墟2017」

7 ワークショップ「自作を語る」
第72回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、ご自身の入選作品について語っていただけます。
詳細・実施日時は、展覧会開会后、山口県立美術館ホームページおよび会場入口の掲示でお知らせします。

8 「HEART（美術館まちなか交流事業）」との連携
山口県美術展覧会の歴代優秀賞以上受賞者の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。

9 主催
山口県

- 10 第72回山口県美術展覧会運営委員 (50音順)
石崎 泰之 山口県立萩美術館・浦上記念館 副館長
岡本 正康 下関市立美術館 館長補佐
倉田 研治 山口県立大学国際文化学部 准教授
中野 良寿 美術家、山口大学教育学部 教授、N3アートラボ代表
原井 輝明 画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
松村 靖 山口県 観光スポーツ文化部 文化振興課長
山本 綾香 防府市地域交流センター アスピラート 事業係
若林 英樹 山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

11 事務局
山口県美術展覧会実施協議会
〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館内 TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790
E-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp http://www.yma-web.jp
郵便でお問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封してください。

第72回山口県美術展覧会出品目録

氏名 (本名) ふりがな		生年月日 (西暦)		住所 (連絡先)		(〒)	
公表用氏名		年 月 日 (オ)		tel:			
※新聞・インターネット等に公表される際には、右欄に記入されたとおりに記載されます。		<input type="checkbox"/> 本名と同じ					
		<input type="checkbox"/> 本名と異なる		よみかた			
記号		番号		題 名		備考(素材・技法など)	
※ A B		※ よみかた					
						受付日	
						1/18 ・ 1/19 ・ 1/20	
						返却方法	
						いづれかを○で囲んでください ・会場受領 ・事務局手配による輸送(料金着払) ・ご自分で手配された 面材店等による搬出(業者名:)	

- ・本目録は作品搬入受付時に、出品料を添え、1作品につき1枚提出してください。複数点出品する方は本目録をコピーしてお使いください。
- ・ペンかボールペンを使い、楷書で、太枠の中のみ記入してください。※は記入しないでください。
- ・住所は出品者本人の住所を記入してください。
- ・ご記入いただいた個人情報山口県美術展覧会に関する業務以外には使用しません。

貼つてください。
(平面作品は裏面右上、それ以外は右下もしくは底面) 出品票は、太枠内を記入し、作品にはがれないように貼ってください。

出 品 票	※	A	B	※
	題名			
	氏名			
	住所			

作品預り証

様

平成31年1月 日
山口県美術展覧会実施協議会

※取扱

※ A	B
-----	---

・作品搬出日時は3月8日～10日の9:00～12:00 13:00～16:00です。
・必ずこの作品預り証をご持参ください。
・搬出日以降も受け取りに来られない作品については、出品者に断りなく処分させていただくこともあります。

3 審査について

- 審査員 (50音順)

岩崎貴宏（いわさき・たかひろ）

美術作家。1975年広島県生まれ、広島県在住。広島市立大学芸術学研究科博士後期課程修了。エジンバラ芸術大学名誉博士。第10回リヨン・ビエンナーレ (2009)、ヨコハマ・トリエンナーレ (2011)、第7回アジア・パシフィック・トリエンナーレ (2012)、2013アジアン・アート・ビエンナーレ (国立台湾美術館)、第8回深圳彫刻ビエンナーレ (2014) などの国際展、「六本木クロッシング2007 未来への脈動」(森美術館)、「日常の喜び」(水戸芸術館現代美術センター、2008)、「trans×formーかたちをこえる」(国際芸術センター青森、2013)、「日産アートアワード2015」(BankART Studio NYK) などグループ展への参加多数。2015年、ニューヨークのアジアソサエティ、黒部市美術館および小山市立車屋美術館で個展を開催。2017年、第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表に選出され、個展「逆さにすれば、森」を開催。2006年と2007年に山口県美展で優秀賞を受賞している。山口県美展の審査は初めて。

篠原資明（しのはら・もとあき）

哲学者・美学者・詩人・美術評論家。京都大学博士（文学）。高松市美術館長。1950年、香川県に生まれる。1975年、京都大学文学部哲学科卒業、1980年、同大学院文学研究科美学美術史学専攻博士課程単位取得満期退学。大阪芸術大学助教授、東京藝術大学専任講師、京都大学大学院人間・環境学研究科教授を経て、現在、同大学名誉教授。この間、放送大学客員教授、ローマ大学客員研究員を兼任するとともに、美学会会長、国立美術館外部評価委員を歴任する。哲学者としては、あいだ哲学を提唱し、詩人としては、方法詩を提唱・実践する。また80年代から現在にいたるまで、現代アートのコアな部分に関与しつづけている。哲学書に『漂流思考』（1987）、美学書に『トランスエステティーク』（1992）、詩集に『物騒ぎ』（1996）などがある。空海との出会い以来は、「まぶさび」の理念を提唱している。山口県美展の審査は初めて。

椿 昇（つばき・のぼる）

1953年生まれ。現代美術作家。京都造形芸術大学教授。1989年、戦後世代の日本の美術作家を紹介する歴史的な展覧会「アゲインスト・ネーチャー」に《フレッシュ・ガソリン》を発表。1993年、ヴェネチア・ビエンナーレに出品。2001年、横浜トリエンナーレに巨大なバッタのバルーン《インセクト・ワールド飛蝗（ひこう）》を発表。2003年、水戸芸術館において9.11以後の世界をテーマに個展「国連少年」を開催。2009年、京都国立近代美術館で個展「椿昇2004-2009：GOLD/WHITE/BLACK」を、2012年、霧島アートの森（鹿児島）で個展「椿昇展“PREHISTORIC_PH”」を開催。2013年、瀬戸内国際芸術祭で「醬の郷+坂手港プロジェクト」。2016年、瀬戸内国際芸術祭で「小豆島町未来プロジェクト」エリアディレクター。現在青森トリエンナーレ、アーティストフェア京都のディレクターを兼務。山口県美展の審査は2回目。

- 審査方法

審査はジャンルを分けることなく、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

- 一次審査：入選候補作品を選定
- 二次審査：入選作品を選定
- 三次審査：入賞作品を選定

- 賞

大賞	1名（賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円）
優秀賞	5名（賞状・賞金5万円）
佳作	（賞状）

4 出品について

以下の出品の条件を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。

<p>※作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における事故および不慮の災害等による作品の破損、亡失等については責任を負いかねますことを、ご了承ください。</p>

- 出品の条件

- 作品は自己の創作したものであること。
- 作品は審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- 作品は著作権、肖像権など、他人の権利を侵害しないものであること。
- 作品は通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。（危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼすものは不可）
- 作品には本要項添付の出品票を、裏面右上または事務局が確認できる場所に貼りつけて出品すること。
- 作品の搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。
- 出品者の責任により美術館の施設に損傷を与えた場合は、原状復帰のための費用をご負担頂くことがあります。

- 出品の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

- 《**Aタイプ**》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品（絵画、写真など、主に壁に掛けて展示する作品）→【**繰出審査**】審査員が着席し、その前に作品を繰出して審査します。
- 《**Bタイプ**》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品（陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等）→【**据置審査**】審査員が移動し、据置された作品を審査します。

- 事前協議

搬入作業および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合は、事務局と事前の協議が必要です。

- 《**Bタイプ**》に該当すると想定されるもののうち

- 一辺が3mを越える寸法のもの
- 重量が200kg以上のもの
- 極端にもろい材質のもの
- 作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション

- ②映像作品等（特に機器、電源等について）

※協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを、あらかじめ用意します。（事前協議を先に行った出品者を優先します）

<p>上記に該当する場合には、以下の事前協議受付期間内に山口県立美術館までお越しください。</p> <p>①日　　時：平成30年12月1日(土)～12月9日(日)　9:00～12:00　13:00～16:30</p> <p>②受付場所：山口県立美術館　総合受付</p> <p>③必要なもの：展示プラン（素材、大きさ、展示イメージ図を明記）</p>

- 出品料

1点につき3,000円を出品目録に添えて、搬入日当日に納入して下さい。（組作品は1組につき1点とみなします。）受付後の出品料の返却には応じられません。

- 作品の搬入

- ①日　　時：平成31年1月18日(金)～1月20日(日)　9:00～12:00　13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館　搬入口（山口市役所側の通用門から入り建物の裏にまわってください）

- 作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

- ①日　　時：平成31年3月8日(金)～3月10日(日)　9:00～12:00　13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館　搬入口

- 搬入および搬出の費用

出品者の負担とします。返送をご希望の場合、荷造りおよび輸送経費は着払いとします。